

たきこみごはん

全国福祉保育労働組合
東海地方本部 障害協議会NEW
S

2007. 6. 18

行って来ました！江ノ島！！

去る6月9日、10日の二日間、江ノ島で行われた「障害福祉現場に働く職員の全国交流集会」に参加してきました。

今回、障害児関係の分科会がはじめて開かれました。これまでも障害児関係の施設の分会で連絡を取り合おうとした時期はありましたが、まとまった動きとしては初めてではないでしょうか。集まって5~6人かな?と思った当日の参加者は、1日目18名、2日目が15名。入所施設の職員も、通所や児童デイの職員さんもいました。地元神奈川からは未組織職場からの参加も。ささやかだけどちょっと感動です。

入所施設では、重度の人が退所できずに残り、子どもの施設だったはずが成人になっても行き場がなく、成人施設化していたり、半数が成人半数が児童という風だったり。知ってはいましたが、障害程度もそれぞれで児童期の人のほうが軽い傾向があり、処遇の難しさは並大抵ではないとのことでした。とくに、虐待への対応からの入所が最近多いとのこと、一時保護所や養護施設がいっぱいなために、発達障害の子どもまで受け入れざるを得ないのだそうです。

通園施設の職員さんは、横浜市東部地域療育センターの理学療法士さんが来ていました。対象は12歳までだそうです、若干名古屋と違います。ただ、利用料の減免制度は平成20年までだそうです、その後は分からないとのこと。当たり前ですが、補装具の1割負担や通園の日割り計算の問題は、名古屋と共通。今後連絡を取り合おうとのこと、名刺を頂いてきました（単一労組で、上部団体はないのだそうです）。また、神奈川の児童デイサービスの方からは、正職は自分ひとりで、あとはみんなパート。子どもたちは重心の子ども（医療ケアの必要な子も）知的障害や自閉症の子もいるのだそうです。今年初めてデイサービスに就職したそうで、周りのパートさんの方が経験者。医療ケアの関係で看護師さんにも来てもらっているとのこと・・・彼の目の下には明らかに疲れを示すくまが・・・。

最後には、とにかくまた集まることを約束し分科会は終了しました。一番感じたのは、何といたっても障害児関係の労働者の組織化が必要ということ。今回がんばった大阪の大林さんに感謝！東海からも次は誰か一緒に行きましょう！！そしてやはり処遇の向上と労働者の労働条件は一体であることを再確認しつつ帰路に着きました。

そよ風分会 土屋

一編の詩をあなたに

騙されるな

ビートたけし

人は何か一つくらい誇れるもの持っている
何でもいい、それを見つけなさい
勉強が駄目だったら、運動がある
両方駄目だったら、君には優しさがある
夢をもて、目的をもて、やれば出来る
こんな言葉に騙されるな、何も無くてもいいんだ
人は生まれて、生きて、死ぬ
これだけでたいしたもんだ

『僕は馬鹿になった』祥伝社

<編集後記>

今回は両面の新聞になりました。こんなときもある。みんな忙しい仕事の合間に、原稿を送るなんてなかなかできることではない、と思います。
(土屋さんの原稿は明け方に届いていました(泣))でも、毎回とにかく出し続けます。どうか、組合員ではない方にも、気軽に読んでもらってください。組合なんて遠い存在だと感じている仲間に、興味をもってもらえるとうれしいです。なんにも特別なことではなく、好きな仕事を元気に続けたい、そのために何かできること、ひとりじゃなくて周りにいる人とつながって・・・そんな思いが伝わったら嬉しいな、ということで、小さなお便りですが、こつこつ出していきたいと思います！来月はページを増やすぞ～！ K

みなさん

お便り

E-mail
takikomig@mar1000.jp